

21

■メジロが群れるユキツバキの群生地

加茂山公園 (加茂市)

■環境：公園 森林
 ■対象：家族
 ■期間：4月上旬～
 11月上旬

市街地のほぼ中央に位置する標高約100mの小丘陵地。加茂山公園は野鳥だけでなく植物相も豊かで図鑑を片手に、四季折々の雪国の植物も楽しめる場所である。散策路も完備され、ゆったりした時間を過ごせる。

〈新緑の森に夏鳥を訪ねよう〉

加茂市を象徴する植物はユキツバキである。加茂山公園には自生しているものだけでなく、人の手でユキツバキの苗木が植えられ緑濃い市民の憩いの場所となっている。しかし他にも植物は多い。

青海神社の鳥居わきの駐車場に車を置き、神社や市民体育館を見ながら「もみじ谷」へ向かおう。体育館を左に見ながら道なりに数分歩いていくと「もみじ谷」へ入る小道である。奥に進んでいくと、コナラ、ミズナラ、ヤマモミジ、イロハカエデなどの広葉樹林がうっそうと茂る「もみじ谷」である。

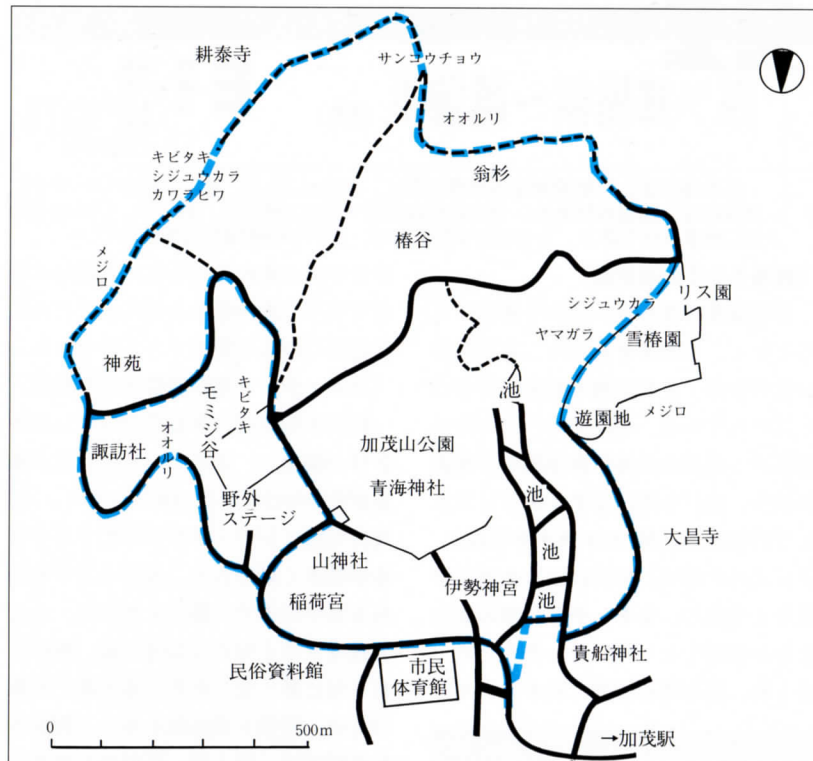
「もみじ谷」では年間を通して多くの鳥たちを見ることができる。特に初夏には、オオルリ、キビタキなどの姿



モミジ谷と歩道

を見ることができる。「もみじ谷」を抜けると薄暗い杉林がしばらく続く。やがて桜やコナラの林に変わる坂道となり、その先に見晴らし台が見えてくる。ここでもキビタキの姿が見られる。この先の「神苑」で休息しよう。あずま屋を中心とした広場でメジロ、カワラヒワ、シジュウカラ、キビタキが現れる。小鳥のさえずりを聞きながらの朝飯は格別である。

「神苑」の先を道なりに進んで行くとはばらくは杉林と竹林である。耳を澄ましていると森の奥からサンコウチヨウの声が聞こえてくる。杉林の道を登りきると、「剣ヶ峰」の見晴らし台である。加茂の街並みを一望できる。耳を澄ますと、後ろの森からオオルリのさえずりが聞こえる。見晴らし台からは「翁杉」へ下ってみよう。翁杉は天然記念物に指定されている老巨木である。さらに下ると見晴らし台と大型スライダーである。そのまま通りすぎ、「リス園」やその先のあずま屋まで行き、ここのエサ台に集まるシジュウカラやヤマガラの姿を楽しむのもよい。



〈ユキツバキとメジロの関係〉

植物は種を作り、子孫を残すため、めしべに花粉をつけなければならない。花粉は普通虫や風に運んでもらう。そのため春に美しい花を咲かせる植物が多い。虫のほとんどいない冬に花を咲かせるユキツバキはメジロに花粉を運んでもらっているのである。ユキツバキの群生する加茂山で冬季や春先メジロの姿を見かけることが多いのは、メジロの好物のツバキのミツが多いか

らである。

(渡辺範雄)

メモ

交通 JR加茂駅から徒歩10分。
 □ 青海神社の鳥居わきと市民体育館わきに駐車場がある。トイレは公園内に4カ所、体育館に1カ所ある。
探鳥会 新津野鳥の会は5月、加茂市民館では5月と9月に探鳥会を行っている。
道草 体育館隣に加茂市民資料館あり。